

満開の桜が皆さんの入学を寿いでくれています。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、このように盛大な入学式を挙行できますことを厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様には、本日、お子様の御入学の姿を間近にご覧になって、お喜びもひとしおであろうと拝察いたします。

先ほど、入学を許可いたしました、318名の生徒の皆さんを確かにお預かりいたしました。本校の教職員を代表いたしまして、子どもの持てる力を最大限に発揮し、指導に当たりますことをお約束いたします。

新入生の皆さんは、これまで育ててくださった保護者の皆さまに感謝の気持ちを持って、これからの高校生活を始めてください。

さて、今日は新入生の皆さんに2つの、お願いがあります。

まず1つ目は、「高い志を持つてください」。「高い志」というのは、「心が高い目標を目指して進んで行くこと」です。今、皆さんには「目標」がありますか。受験勉強が終わってほっとして、目標を見失ってしまった、ということはありませんか？ 勉強のこと、部活動のこと、将来なりたい職業など、何でも結構です。その、目標を高く持ち、それに向かって進んで行く。つまり、「高い志を持つ」ということです。

アニメの「アンパンマン」の歌、今でも歌えますか？高校の入学式で「アンパンマン？」と思っていらいらっしゃるかもしませんが、その歌詞の中に「**なんのために生まれて、なにをして生きるのか**」という部分があります。

子ども向けの歌なのに、なぜだか皆さんは、容赦なく難しい命題を歌に込めています。「なんのために生まれて、なにをして生きるのか」、皆さんはこの問いに答えらわなくてはいけません。今、答えが出なくてもいいです。でも、立ち止まって考えなければいけない問題です。その答えを見つげるためには、勉強して、知識を広げる、友達の考えを聞いて聞いたり、自分の考えていることを言葉にしたりしていく中で見つけていってください。自分で考えて、目標を見つけて、それに向かって自ら進んでいくことの大切さを、このアンパンマンの歌は意味しているのです。

2つ目のお願いは「自分を大切にしてください」ということです。皆さんはかけがえのない命を与えられ、この世に生まれました。「自分がなんのために生まれ、何のために生きるのか」と考えていく中で、かけがえのない自分の存在に気付いてください。「かけがえのない自分」というのは、自分は世界の中でただ一人の自分であり、他の誰にも、あるいは何にも換えることはできない存在である、ということなのです。かけがえのない自分であることに気付くと、自分の心を大切にしようという気持ちが起こるはずです。

自分を大切に出来る人は、あなたの隣の人もかけがえのない存在であることに気が付き、その人の心も大切に思えるようになります。自分を大切に、他の人も大切に。そういう人になってほしいと思います。

本校は、昭和56年に開校し、今年で37年目を迎える学校です。この松が谷の地が造成されたとき、地域に住む生徒たちが通学できる学校をと、地域の期待を背負う学校として誕生しました。校門にある山桜の木も大分太くなっているように、開校以来多くの卒業生が社会の様々な分野で活躍しております。

本校の教育目標は、「誠実」「愛」「勇氣」です。今、社会人はコミュニケーション能力が求められています。チームで企画・立案し、チームでその企画を作り上げる時代です。常に温かな心を持ち、人間関係を大切に。そして、視野の広い知識に基づき、適切な判断力が求められます。本校の教職員がそうですが、みんなでチームワークよく、同じ方向を向いて、一つの仕事を上げていく。その中で達成感を感じることが出来ます。皆さんも立派な社会人となることを目標に、夢を持って本校でしっかりと学んでください。

そのためには、教科の学習だけでなく、体育祭、文化祭などの学校行事、生徒会活動・委員会活動や、もちろん加入率の高い、部活動などにもしっかりと取り組んでください。自分たちで作りに上げていく体験をする中で、思考・判断・表現力を養うと、自信につながるはずです。

さて、新入生の皆さんに今日は2つのお願いをしました。1つ目は「高い志を持つてください」。「2つ目は」「自分を大切にしてください」。「とお願いしました。

アンパンマンの「**なんのために生まれて、なにをして生きるのか**」の歌の続きは、「**じたえられないなんて**」そ

んなのは「いやだー」「どうも、皆さんも、同じ気持ちだと思います。皆さんの前には未来に向かって限りなく道は続いている。しひひまもついでに道は続いています。皆さんのこれから3年間の学校生活の中で、今日の2つのお願いが実現できているか、まだいつか聞いてみたいと思います。

保護者の皆様と私たち教職員は、今日から、ごもたちを「指導し、育ていく」という同じ目標に取り組みることになりました。共に育てることの基本は、学校と家庭の相互の理解と信頼にあると考えます。私たち教職員は、力を尽くし、一人一人を大切に、きめ細かく指導して参ります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動に対するご理解と協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます、式辞といたします。